



## **Cisco eXpandable Power System 2200**

### **ハードウェア インストレーション ガイド**

### **Cisco eXpandable Power System 2200 Hardware Installation Guide**

2011 年 3 月

**【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意  
([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/))をご確認ください。**

**本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。  
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップ  
デートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合があ  
りますことをご了承ください。  
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ  
イトのドキュメントを参照ください。**

**また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊  
社担当者にご確認ください。**

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

**FCC クラス A 準拠装置に関する記述：**この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

**FCC クラス B 準拠装置に関する記述：**このマニュアルに記載された装置は、無線周波エネルギーを生成および放射する可能性があります。シスコシステムズの指示する設置手順に従わずに装置を設置した場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの仕様は、住宅地で使用したときに、このような干渉を防止する適切な保護を規定したものです。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

シスコシステムズの書面による許可なしに装置を改造すると、装置がクラス A またはクラス B のデジタル装置に対する FCC 要件に準拠しなくなることがあります。その場合、装置を使用するユーザの権利が FCC 規制により制限されることがあり、ラジオまたはテレビの通信に対するいかなる干渉もユーザ側の負担で矯正するように求められることがあります。

装置の電源を切ることによって、この装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。干渉がなくなれば、シスコシステムズの装置またはその周辺機器が干渉の原因になっていると考えられます。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 干渉がなくなるまで、テレビまたはラジオのアンテナの向きを変えます。
- テレビまたはラジオの左右どちらかの側に装置を移動させます。
- テレビまたはラジオから離れたところに装置を移動させます。
- テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続します（装置とテレビまたはラジオがそれぞれ別個のブレーカーまたはヒューズで制御されるようにします）。

米国シスコシステムズ社では、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うこととなります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任は一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

Cisco eXpandable Power System 2200 ハードウェア インストールガイド  
© 2011 Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

Copyright © 2011, シスコシステムズ合同会社 .  
All rights reserved.



## CONTENTS

|                         |    |
|-------------------------|----|
| はじめに                    | v  |
| 概要                      | v  |
| 表記法                     | v  |
| 関連資料                    | vi |
| マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート | vi |

---

### CHAPTER 1

|                                |            |
|--------------------------------|------------|
| <b>製品概要</b>                    | <b>1-1</b> |
| 製品の説明                          | 1-1        |
| 前面パネルの説明                       | 1-2        |
| LED                            | 1-3        |
| Select ボタンと Online/Offline ボタン | 1-5        |
| ファン モジュール                      | 1-6        |
| サービス ポート                       | 1-6        |
| 背面パネルの説明                       | 1-6        |
| リセット ボタン                       | 1-6        |
| 電源ポート                          | 1-6        |
| 電源モジュール                        | 1-7        |
| 管理オプション                        | 1-10       |

---

### CHAPTER 2

|                       |            |
|-----------------------|------------|
| <b>XPS 2200 の取り付け</b> | <b>2-1</b> |
| 設置の準備                 | 2-1        |
| 安全上の警告                | 2-1        |
| 設置の注意事項               | 2-3        |
| スタック構成の注意事項           | 2-3        |
| 工具および機器               | 2-3        |
| XPS の取り付け             | 2-4        |
| ブラケットの取り付け            | 2-4        |
| ラックへの XPS の取り付け       | 2-5        |
| XPS の接続               | 2-6        |
| ケーブル接続のオプション          | 2-6        |
| ケーブルの接続               | 2-7        |

---

### CHAPTER 3

|                                 |            |
|---------------------------------|------------|
| <b>電源モジュールおよびファン モジュールの取り付け</b> | <b>3-1</b> |
| 設置の注意事項                         | 3-1        |

|                   |     |
|-------------------|-----|
| AC 電源モジュールの取り付け   | 3-2 |
| DC 電源モジュールの取り付け   | 3-3 |
| 必要な工具             | 3-3 |
| XPS への DC 電源の取り付け | 3-3 |
| DC 入力電源の配線        | 3-4 |
| ファン モジュールの取り付け    | 3-5 |

---

APPENDIX A

|      |     |
|------|-----|
| 技術仕様 | A-1 |
|------|-----|

---

APPENDIX B

|             |     |
|-------------|-----|
| トラブルシューティング | B-1 |
| LED         | B-1 |
| 問題の診断       | B-1 |
| シリアル番号の確認   | B-3 |

---

INDEX



## はじめに

### 概要

このマニュアルでは、Cisco eXpandable Power System 2200 (XPS 2200) のハードウェア機能について説明します。XPS 2200 の物理特性およびパフォーマンス特性を紹介するとともに、スイッチの設置方法およびトラブルシューティングについて説明します。

このマニュアルでは、受信する可能性があるシステム メッセージや、XPS 2200 (以後 *XPS* と記載) の設定方法については、説明しません。3750-X スイッチおよび 3560-X スイッチで、CLI を使用して XPS を設定し、Catalyst Cisco IOS ソフトウェアまたは管理ソフトウェアを使用して管理します。

XPS 2200 の設定については、Cisco.com の『*Cisco eXpandable Power System 2200 Configuration Note*』を参照してください。

標準的な Cisco IOS コマンドの情報については、Cisco.com ホームページから Cisco IOS のマニュアルセットを参照してください。

### 表記法

このマニュアルでは、注釈、注意、および警告に次の表記法および記号を使用しています。このマニュアルにある警告の各国語版は、『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco eXpandable Power System 2200*』に記載されています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



警告

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。警告の各国語版は、各警告の最後に記載されているステートメント番号を基に、装置に付属の「Translated Safety Warnings」を参照してください。ステートメント 1071

## 関連資料

XPS およびサポートされているスイッチの詳細は、次のマニュアルを参照してください。

- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco eXpandable Power System 2200*』
- 『*Cisco eXpandable Power System 2200 Configuration Note*』
- 『*Installation Notes for the Catalyst 3750-X and Catalyst 3560-X Switch Power Supply Modules*』
- 『*Installation Notes for the Catalyst 3750-X and 3560-X Switch Fan Module*』
- 『*Installation Notes for the Catalyst 3750-X and 3560-X Switch Network Modules*』
- 『*Catalyst 3750-X and 3560-X Switch Getting Started Guide*』
- 『*Catalyst 3750-X and 3560-X Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 3750-X and 3560-X Switch*』
- 『*Catalyst 3750-X and 3560-X Switch Software Configuration Guide*』
- 『*Catalyst 3750-X and 3560-X Switch Command Reference*』
- 『*Catalyst 3750-X, 3750-E, 3560-X, and 3560-E Switch System Message Guide*』
- 『*Release Notes for the Catalyst 3750-X and 3560-X Switch*』
- 『*Cisco IOS Software Installation Document*』

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



# CHAPTER 1

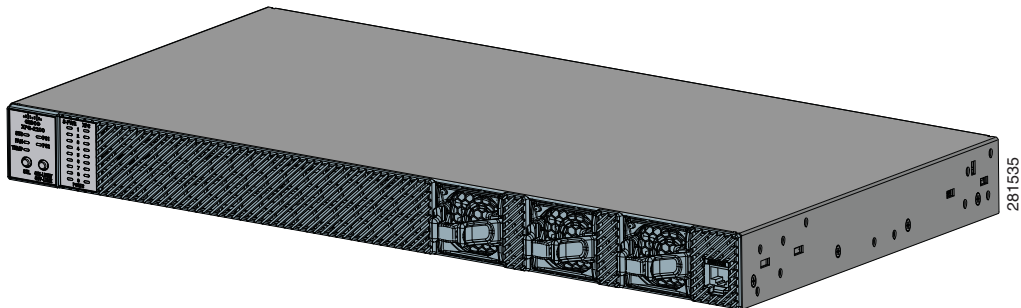
## 製品概要

- 「製品の説明」 (P.1-1)
- 「前面パネルの説明」 (P.1-2)
- 「背面パネルの説明」 (P.1-6)
- 「管理オプション」 (P.1-10)

## 製品の説明

XPS は、9 台のネットワーク スイッチをサポートできる、拡張可能な電源システムです。

図 1-1 Cisco XPS 2200



XPS には、XPS 背面パネルのスロットに挿入される 2 つの Field-Replaceable Unit (FRU; 現場交換可能ユニット) 電源モジュールがあります。C3KX-PWR AC または DC の電源モジュールの任意の組み合わせを使用できます。詳細については、「電源モジュール」 (P.1-7) を参照してください。

9 つの XPS 電源ポートは、Catalyst 3750-X スイッチおよび 3560-X スイッチに電力および管理信号を提供します。XPS は、XPS ケーブルを介して各スイッチと通信します。

Catalyst 3750-X スイッチまたは 3560-X スイッチを XPS に接続する場合、電源スタックを作成します。

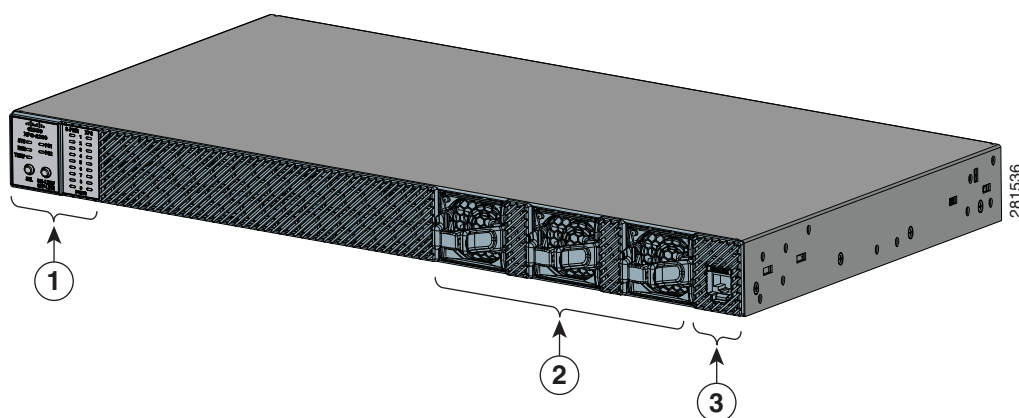
冗長性、電力の共有、またはその両方のために、XPS を設定できます。

- 冗長モードでは、XPS によって、障害が発生した最大 2 台までの電源に対して、電源のバックアップが提供されます。冗長モードの場合、各電源によって、同等またはそれ以下の 1 つの電源に対して冗長性を提供できます。障害が発生した電源は、異なるスイッチまたは同じスイッチに存在できます。
- 電力共有モードでは、XPS によって、電源スタックのスイッチ（IP ベース イメージを実行中の Catalyst 3750-X スイッチのみ）に電源が供給されます。スタック内のすべての電源（XPS を含む）の電力が集約され、スタック メンバに分配されます。
- 冗長モードと電力共有モードの電源が 1 つずつある混合モードでは、XPS によって、障害が発生した 1 つの電源に対してのみ、電源のバックアップが提供されます。

## 前面パネルの説明

XPS 前面パネルには、システム LED、Select ボタン、Online/Offline ボタン、ファン モジュール、およびサービス ポートがあります (図 1-2)。

図 1-2 XPS 2200 前面パネル



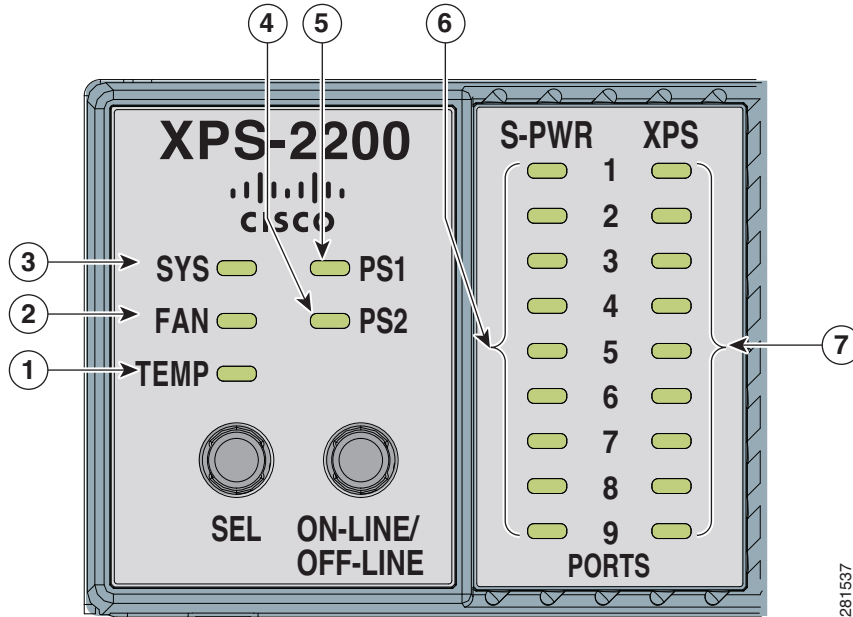
|   |  |   |          |
|---|--|---|----------|
| 1 | システム LED、Select ボタン、<br>Online/Offline ボタン | 3 | サービス ポート |
| 2 | ファン モジュール                                  |   |          |



# LED

前面パネルの LED (図 1-3 を参照) は、各電源ポートの XPS システム ステータスおよびモードを示します。LED の説明については、表 1-1、表 1-2、および表 1-3 を参照してください。

図 1-3 XPS LED



|   |      |   |                 |
|---|------|---|-----------------|
| 1 | 温度   | 5 | 電源 1            |
| 2 | ファン  | 6 | S-PWR (電力共有モード) |
| 3 | システム | 7 | XPS (冗長モード)     |
| 4 | 電源 2 |   |                 |

表 1-1 XPS ステータス LED

| LED  | オフ   | グリーン                                     | オレンジに点滅  | オレンジ                                   |
|------|------|--|--|--|
| システム | 電源断。 | XPS はアクティブ モードです。障害が発生したデバイスをバックアップできます。 | XPS は選択モードです。選択済みのポートはスタンバイ ポートです。デバイスをバックアップする準備ができていません。 | 電源モジュールは互換性がないか、または、XPS が過熱状態か過電流状態です。 |
| ファン  | 電源断。 | ファン モジュールは正常に動作中です。                      | —  | ファン モジュールの 1 台が正常に動作していません。            |
| 温度   | 電源断。 | XPS の内部温度が 131 °F (55 °C) を下回っています。      | —  | XPS が過熱状態です (131 °F (55 °C) を上回っています)。 |

表 1-2 電源 LED

| LED  | オフ          | グリーン          | グリーンに点滅     | オレンジ                     | オレンジに点滅                |
|------|-------------|---------------|-------------|--------------------------|------------------------|
| 電源 1 | 電源装置が未搭載です。 | 電源は電力共有モードです。 | 電源は冗長モードです。 | 電源は電力共有モードですが、障害が発生しました。 | 電源は冗長モードですが、障害が発生しました。 |
| 電源 2 |             |               |             |                          |                        |

S-PWR および XPS の LED は、XPS をスイッチに接続するために使用する XPS 電源ポートのモードおよびステータスを示します。LED には、1～9 の番号が付けられています。これは、電源ポートの番号に対応します。番号が付けられている各 LED は、ポートのモードによって、1 つの LED のみが点灯します。

表 1-3 に、この LED の色と意味を示します。

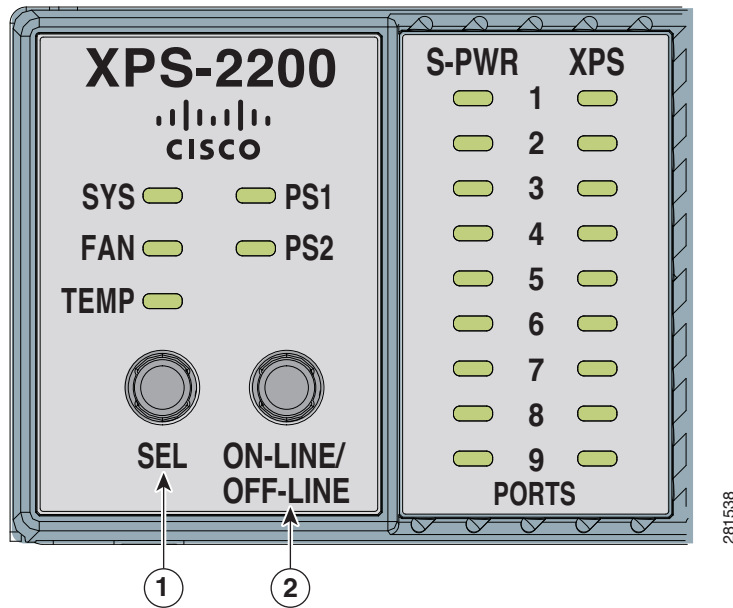
表 1-3 S-PWR と XPS LED

| カラー     | S-PWR (電力共有モード)                                       | XPS (冗長モード)                                   |
|---------|---|---|
| オフ      | XPS の電源が入っていないか、または、XPS 電力ポートに接続されているデバイスがありません。      |   |
| グリーン    | XPS は、このポートを介してデバイスに接続され、デバイスと電力を共有しています。             | XPS は、接続されたデバイスをバックアップできます。                   |
| グリーンに点滅 | —   | XPS は、接続されたデバイスをバックアップします。                    |
| オレンジ    | XPS が、接続されていないか、準備ができていないか、または、通信していません。              | XPS が、接続されたデバイスをバックアップできないか、またはポートが接続されていません。 |
| オレンジに点滅 | XPS に、重大なポート障害が発生しているか、または StackPower スタック障害が発生しています。 | XPS に、重大なポート障害が発生しているか、またはポートをバックアップできません。    |

## Select ボタンと Online/Offline ボタン

XPS には、Select ボタンおよび Online/Offline ボタンがあります。これらのボタンを選択してポートを選択し、その動作モード（イネーブルまたはディセーブル）を変更します。図 1-4 に、Select ボタンおよび Online/Offline ボタンを示します。

図 1-4 Select ボタンと Online/Offline ボタン



|   |            |   |                    |
|---|------------|---|--------------------|
| 1 | Select ボタン | 2 | Online/Offline ボタン |
|---|------------|---|--------------------|

XPS 電源ポートを選択するには、Select ボタンを使用します。選択されたポートの動作モードを変更するには、Online/Offline ボタンを使用します。



(注)

電源が入っている場合、XPS およびそのすべてのポートはイネーブル モードです。

ポートの動作モードを変更するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 必要なポートがオレンジとグリーンに点滅するまで、Select ボタンを繰り返し押します。
- ステップ 2** Online/Offline を押し、ポートをイネーブル モードまたはディセーブル ポートのいずれかにします。



(注) Select ボタンを押す前に XPS で Online/Offline を押し、XPS では、9 個のポートすべてがイネーブル モードとディセーブル モードとの間で切り替えられます。これが発生する場合、Select ボタンを再度押し、必要なポートを選択します。

- ステップ 3** 必要に応じてこの手順を繰り返し、他のすべてのポートの動作モードを変更します。

## ファン モジュール

XPS では、3 台のファン モジュールのホット スワップがサポートされます。システム電源を切らないで、通常のシステム動作を中断させることなく、ファン モジュールを取り外し、交換することができます。ファン モジュールの取り付けおよび取り外しについては、「[ファン モジュールの取り付け \(P.3-5\)](#)」を参照してください。

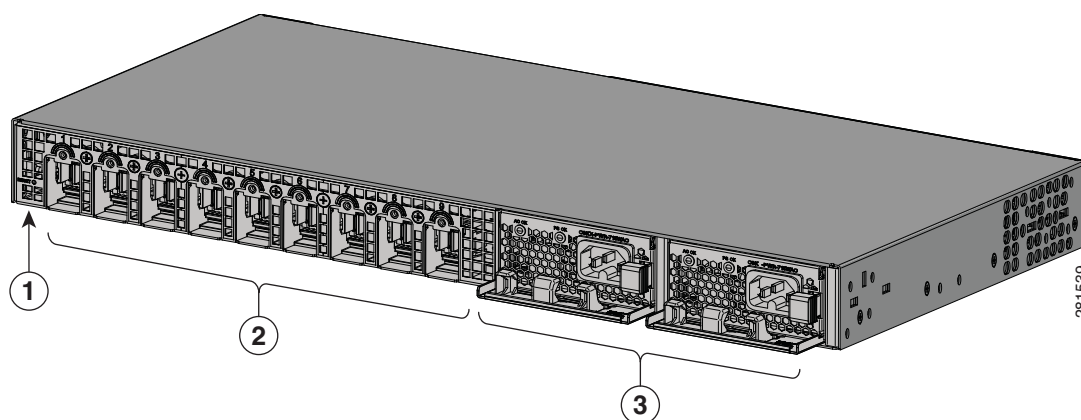
## サービス ポート

サービス ポートを使用し、XPS のイメージをアップグレードします。ソフトウェア アップグレードの情報については、『*Configuration Notes for the Cisco eXpandable Power System 2200*』を参照してください。

## 背面パネルの説明

XPS 背面パネルには、1 個のリセット ボタン、9 個の電源ポート、2 個の電源モジュール スロットがあります (図 1-5)。

図 1-5 XPS 背面パネル



|   |          |   |              |
|---|----------|---|--------------|
| 1 | リセット ボタン | 3 | 電源モジュール スロット |
| 2 | 電源ポート    |   |              |

## リセット ボタン

ソフトリセットを実行するには、リセット ボタンを押します。XPS の電源を再投入するには、リセット ボタンを (5 秒以上) 押したままにします。

## 電源ポート

電源ポートは、Catalyst 3750-X スイッチおよび 3560-X スイッチに電力および通信信号を提供します。2 種類の XPS ケーブルによって、XPS がスイッチに接続されます。「[ケーブル接続のオプション \(P.2-6\)](#)」を参照してください。

## 電源モジュール

XPS 電源モジュールは、XPS の背面の電源スロットに差し込まれます。

- 350 W および 715 W の AC 電源モジュールは、100 ~ 240 VAC の入力電圧をサポートするオートレンジングユニットです。
- 1100 W 電源モジュールは、115 ~ 240 VAC の入力電圧をサポートするオートレンジングユニットです。
- 440 W DC 電源モジュールには給電入力に 2 系統 (A および B) あり、36 ~ 72 VDC の入力電圧をサポートします。出力電圧の範囲は 51 ~ 57 V です。

AC 電源モジュールには AC 電源コンセントに接続するための電源コードが、それぞれ付属しています。DC 電源モジュールは DC 電源に接続する必要があります。

表 1-4 サポートされる電源モジュールの部品番号と説明

| 部品番号                          | 説明                |
|-------------------------------|-------------------|
| C3KX-PWR-1100WAC=             | 1100 W AC 電源モジュール |
| C3KX-PWR-715WAC=              | 715 W AC 電源モジュール  |
| C3KX-PWR-350WAC=              | 350 W AC 電源モジュール  |
| C3KX-PWR-440WDC= <sup>1</sup> | 440 W DC 電源モジュール  |

1. NEBS に準拠していません。



(注)

冗長モードに設定されているシステムでは、XPS でレートが最も低い電源モジュールのレートが、スイッチでレートが最も高い電源モジュール以上のレートである必要があります。



(注)

1 台の電源モジュールを注文した場合、予備の電源挿入部品が XPS に同梱されています。2 台の電源モジュールを注文した場合、予備の部品として電源挿入部品 (BLNK-XPS2200=) を注文できます。

XPS に 1 つの電源モジュールのみを取り付ける場合、XPS の背面パネルにある空の電源スロットに予備の電源挿入部品を取り付ける必要があります。この部品を挿入することで、適切なエアフローと冷却が維持されます。



警告

ブランクの前面プレートおよびカバー パネルには、3 つの重要な機能があります。シャーシ内の危険な電圧および電流による感電を防ぐこと、他の装置への EMI の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の空気の流れを適切な状態に保つことです。必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーをスロットに正しく取り付けられた状態で、システムを運用してください。ステートメント 1029

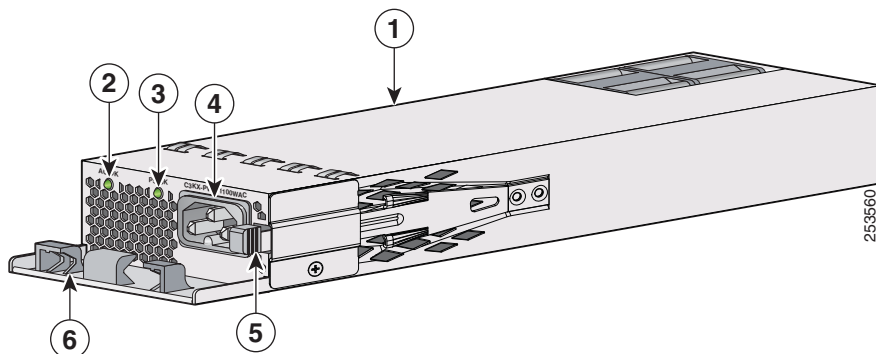


注意

電源スロットに挿入部品を取り付けずに XPS を動作させると、XPS が過熱状態になる可能性があります。重大な XPS の障害が発生する場合があります。

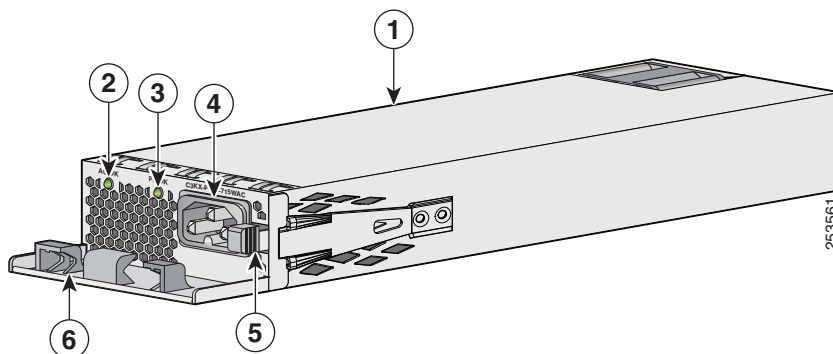
電源モジュールの取り付けおよび取り外しの情報と、電源の使用については、第 3 章「電源モジュールおよびファン モジュールの取り付け」および付録 A「技術仕様」を参照してください。

図 1-6 1100 W AC 電源モジュール



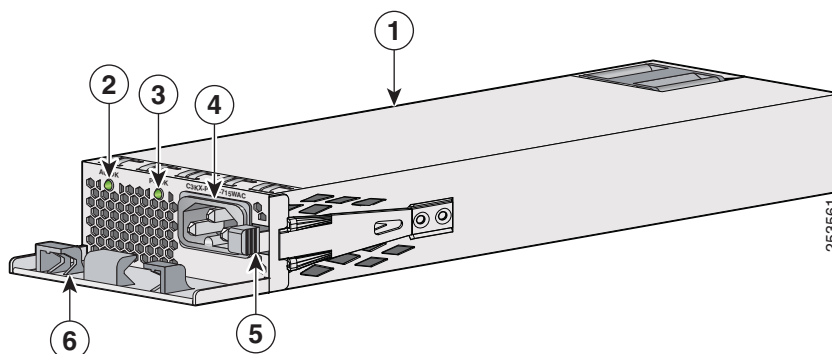
|   |                   |   |               |
|---|-------------------|---|---------------|
| 1 | 1100 W AC 電源モジュール | 4 | AC 電源コード コネクタ |
| 2 | AC OK LED         | 5 | リリース ラッチ      |
| 3 | PS OK LED         | 6 | 電源コード保持具      |

図 1-7 715 W AC 電源モジュール



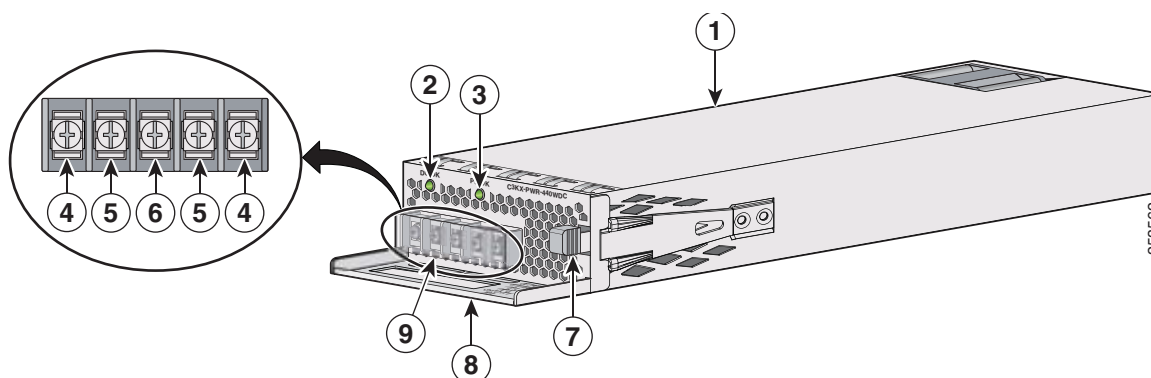
|   |                  |   |               |
|---|------------------|---|---------------|
| 1 | 715 W AC 電源モジュール | 4 | AC 電源コード コネクタ |
| 2 | AC OK LED        | 5 | リリース ラッチ      |
| 3 | PS OK LED        | 6 | 電源コード保持具      |

図 1-8 350 W AC 電源モジュール



|   |                  |   |               |
|---|------------------|---|---------------|
| 1 | 350 W AC 電源モジュール | 4 | AC 電源コード コネクタ |
| 2 | AC OK LED        | 5 | リリース ラッチ      |
| 3 | PS OK LED        | 6 | 電源コード保持具      |

図 1-9 440 W DC 電源モジュール



|   |                  |   |              |
|---|------------------|---|--------------|
| 1 | 440 W DC 電源モジュール | 6 | アース端子        |
| 2 | DC OK LED        | 7 | リリース ラッチ     |
| 3 | PS OK LED        | 8 | 取手           |
| 4 | 入力電源端子 (プラス)     | 9 | 端子ブロックの安全カバー |
| 5 | 入力電源端子 (マイナス)    |   |              |

表 1-5 電源モジュールの LED

| AC 電源モジュール LED |                    |       |                             |
|----------------|--------------------|-------|-----------------------------|
| AC OK          | 説明                 | PS OK | 説明                          |
| オフ             | AC 入力電源が供給されていません。 | オフ    | 出力がディセーブルであるか、または入力動作範囲外です。 |
| グリーン           | AC 入力電源が供給されています。  | グリーン  | スイッチへ電力を供給しています。            |
|                |                    | レッド   | 出力が停止しました。                  |
| DC 電源モジュール LED |                    |       |                             |
| DC OK          | 説明                 | PS OK | 説明                          |
| オフ             | DC 入力電源が供給されていません。 | オフ    | 出力がディセーブルであるか、または入力動作範囲外です。 |
| グリーン           | DC 入力電源が供給されています。  | グリーン  | スイッチへ電力を供給しています。            |
|                |                    | レッド   | 出力が停止しました。                  |

## 管理オプション

Catalyst 3750-X スイッチまたは 3560-X スイッチが XPS に接続されている場合、スイッチ ソフトウェア経由で XPS を設定し、管理することができます。

- Cisco Network Assistant

Cisco Network Assistant は、中小企業の LAN 向けに最適化された PC ベースのネットワーク管理 GUI アプリケーションです。Cisco Network Assistant は、Cisco Catalyst Express 500 から Cisco Catalyst 4506 までの範囲の Cisco スイッチの中央集中型管理を可能にします。ユーザはスイッチ クラスタまたはスタンドアロンのスイッチの設定および管理を GUI から行うことができます。Cisco Network Assistant は、次の URL から無料でダウンロードできます。

<http://www.cisco.com/pcgi-bin/tablebuild.pl/NetworkAssistant>

Network Assistant アプリケーションの起動については、Cisco.com にある『*Getting Started with Cisco Network Assistant*』を参照してください。

- Cisco IOS CLI

スイッチの CLI は Cisco IOS ソフトウェアに基づいており、デスクトップ スイッチング機能をサポートするよう拡張されています。CLI を使用してスイッチおよびスイッチ クラスタ メンバを詳細に設定し、モニタできます。CLI にアクセスするには、管理ステーションをスイッチの管理ポートまたはコンソール ポートに直接接続するか、またはリモート管理ステーションから Telnet を利用します。詳細については、Cisco.com にあるスイッチのコマンドリファレンスを参照してください。

- CiscoWorks アプリケーション

CiscoWorks LAN Management Solution (LMS) は、シスコ ネットワークの設定、管理、モニタ、トラブルシューティングを単純化する管理ツールのスイートです。詳細については、LMS のマニュアルを参照してください。



- SNMP ネットワーク管理

HP OpenView や SunNet Manager などのプラットフォームが稼動している Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) 対応管理ステーションから、スイッチを管理できます。スイッチは、Management Information Base (MIB; 管理情報ベース) 拡張機能の包括的なセットと 4 つの Remote Monitoring (RMON) グループをサポートしています。詳細については、Cisco.com にあるスイッチのソフトウェア コンフィギュレーション ガイド および SNMP アプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。





## CHAPTER 2

# XPS 2200 の取り付け

この章では、XPS の取り付け方法および接続方法について説明します。この章の内容は次のとおりです。次の順番で手順を進めてください。

- 「設置の準備」(P.2-1)
- 「XPS の取り付け」(P.2-4)
- 「XPS の接続」(P.2-6)

## 設置の準備

### 安全上の警告

ここでは、基本的なインストラクションの注意事項と警告事項について説明します。警告の各国語版は、『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco eXpandable Power System 2200*』に記載されています。このドキュメントは Cisco.com から入手できます。インストラクション手順を開始する前に、ここに記載されている内容をお読みください。



警告

電源に接続されている装置を扱う場合は、事前に指輪、ネックレス、腕時計などの装身具を外しておいてください。これらの金属が電源やアースに接触すると、金属が過熱して重度のやけどを負ったり、金属類が端子に焼き付くことがあります。ステートメント 43



警告

他の装置の上にシャーシを積み重ねないでください。シャーシが落下すると、大けがをしたり、装置が損傷したりすることがあります。ステートメント 48



警告

電源モジュールやファン モジュールの取り付けまたは取り外し中は、空いているスロットやシャーシに手を入れないでください。回路の露出部分に触れると、感電のおそれがあります。ステートメント 206



警告

スイッチに接続できるシスコの外部電源システムは XPS 2200 のみです。ステートメント 387



警告

設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004



警告

ラックに装置を取り付けたり、ラック内の装置のメンテナンス作業を行ったりする場合は、事故を防ぐため、装置が安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次の注意事項を守ってください。

- ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下に設置して、下から順番に取り付けます。
- ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守してください。ステートメント 1006



警告

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。出入りが制限された場所とは、特殊なツール、ロックおよびキー、または他のセキュリティ手段を使用しないと入室できない場所を意味します。ステートメント 1017



警告

プラグとソケットの組み合わせは、メインの接続解除装置として機能するため、いつでもアクセス可能な状態にしておく必要があります。ステートメント 1019



警告

この装置には、複数の電源が接続されている場合があります。装置の電源を完全にオフにするには、すべての電源接続を切断する必要があります。ステートメント 1028



警告

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030



警告

この製品を廃棄処分する際には、各国の法律または規制に従って取り扱ってください。ステートメント 1040



警告

スイッチの過熱を防止するために、周辺温度が推奨されている最高温度の 113 °F (45 °C) を超える環境では使用しないでください。ステートメント 1047



警告

装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。ステートメント 1074



警告

エアフローの制約を防ぐには、通気口の周りに少なくとも 3 インチ (7.6 cm) の間隔を空けるようにします。ステートメント 1076

## 設置の注意事項

XPS を取り付ける場所を決定する際には、次の注意事項に従ってください。

- 動作環境が付録 A 「技術仕様」に記載されている範囲内に該当していること。
- XPS の周囲および通気口を通過するエアフローが妨げられないこと。
- 前面パネルおよび背面パネルまでの間隔が、次の条件を満たしていること。
  - 前面パネルのインジケータを容易に確認できる。
  - ポートの周囲にゆとりがあり、ケーブルの着脱や配線が無理なくできる。
  - AC 電源コンセントから XPS 2200 背面パネルの電源モジュールまでの AC 電源コードの長さが十分である。
- ケーブルがラジオ、電源コード、蛍光灯などの電気ノイズ源から離れていること。ケーブルは、損傷を与える可能性のある装置から必ず十分に離してください。  
ケーブルに十分な長さを持たせるために、XPS を使用するスイッチは XPS の近くに配置してください。XPS ケーブルの最大長は 1.5 メートルです。
- XPS に 1 つの電源のみが取り付けられている場合に、XPS に同梱されている予備の電源挿入部品が空の電源スロットに取り付けられていること。

## スタック構成の注意事項

XPS に接続されたラック取り付けスイッチ スタックでは、次の順序を推奨します。

- スタックの底部に XPS を取り付けます。必要に応じて XPS とその真上のスイッチとの間に 1 RU 分の空間を確保し、ケーブル配線が容易になるようにします。
- 必要な XPS ケーブルを XPS に接続します。
- スイッチをラックに搭載します。1100 W 電源モジュールを使用する場合は、スイッチをラックに取り付けてから電源モジュールを取り付けます。
- XPS ケーブルを XPS の上の最初のスイッチに接続します。
- XPS ケーブルを XPS の上の 2 番目のスイッチに接続します。
- すべての装置を接続するまで、この手順を繰り返します。

## 工具および機器

次の工具が必要です。

- プラス ドライバ
- 15 重量ポンド インチ (lbf-in.) または 240 重量オンス インチ (ozf-in.) の圧力までかけることができる No. 2 ヘッド ラチェット式 プラス ドライバ

# XPS の取り付け

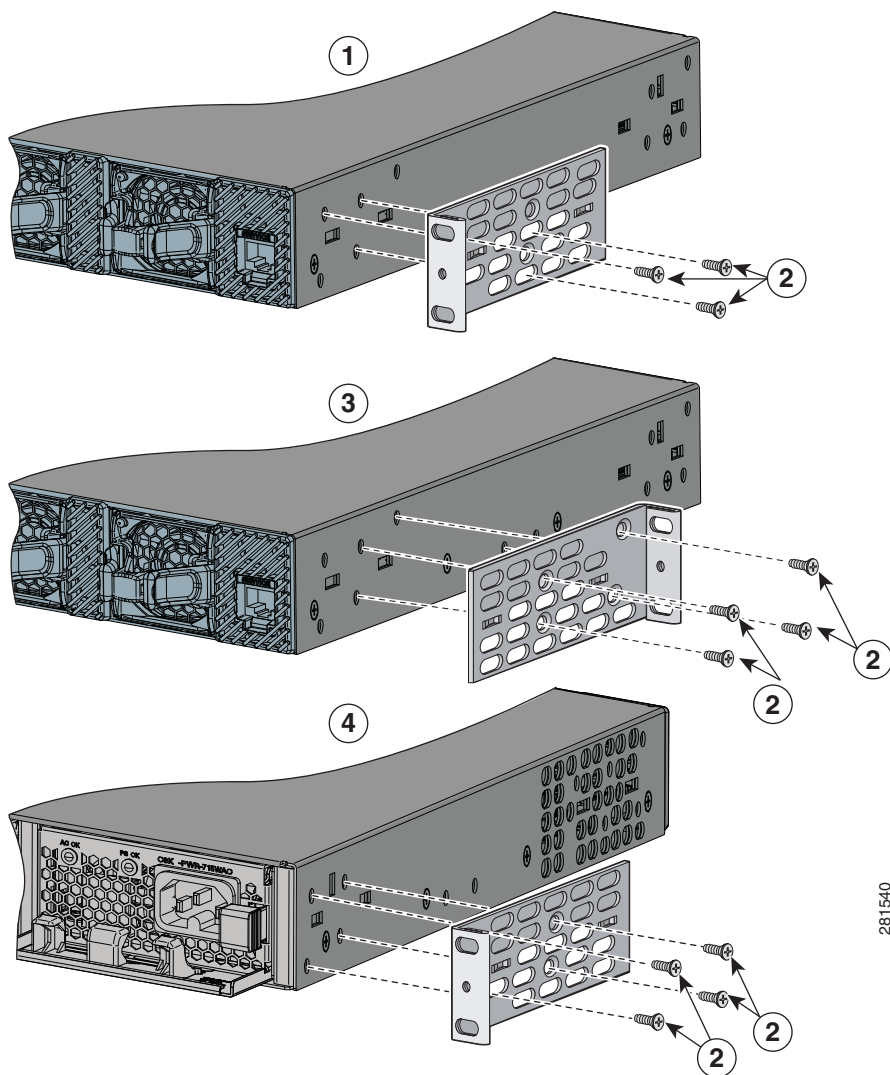
## ブラケットの取り付け

19 インチ ラックに XPS を設置するには、この項で説明する手順に従ってください。

XPS を 23 インチ ラックまたは 24 インチ ラックに取り付けるには、XPS に含まれていないオプションのブラケットキット（製品番号 C3KX-RACK-KIT=）が必要です。

図 2-1 に、19 インチ ラックに取り付ける場合に XPS の片側にブラケットを取り付ける方法について説明します。

図 2-1 19 インチ ラックのブラケットの取り付け



|   |                  |   |            |
|---|------------------|---|------------|
| 1 | フロントマウントの位置      | 3 | ミッドマウントの位置 |
| 2 | No. 8 フラットヘッド ネジ | 4 | リアマウントの位置  |

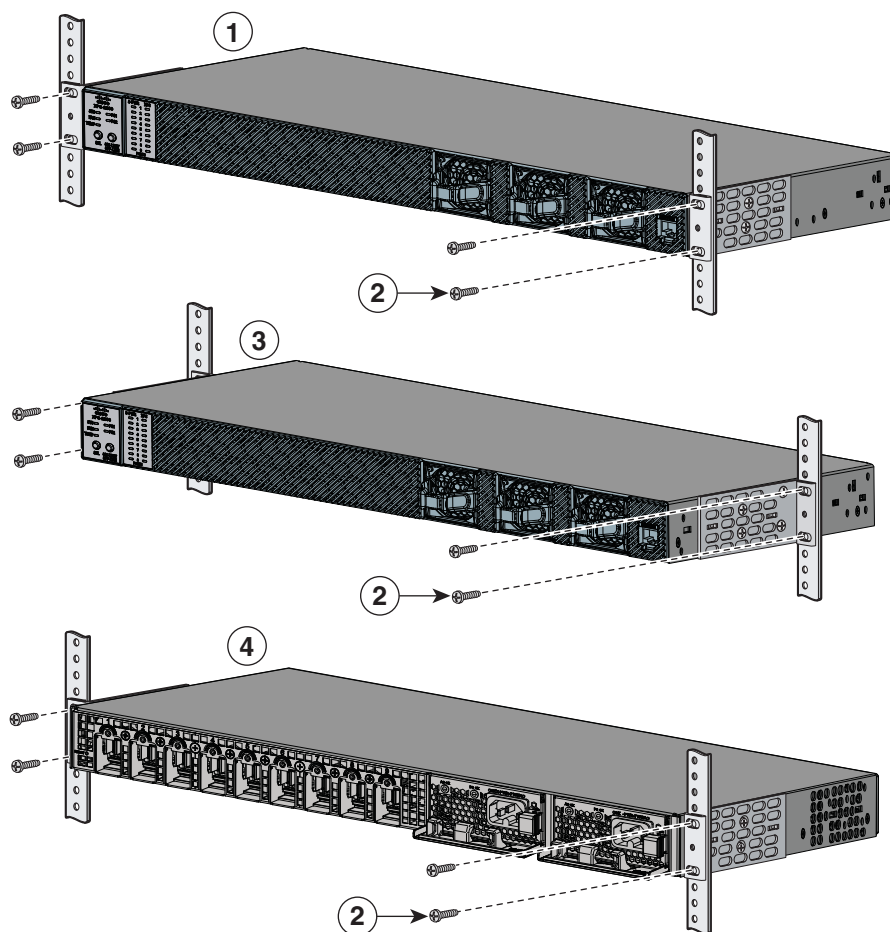
## ラックへの XPS の取り付け

XPS にブラケットを取り付けたら、付属の 4 本の No. 12 または No. 10 の小ネジを使用して、ブラケットをラックに取り付けます (図 2-2)。



(注) スイッチ スタック付きのラックに XPS を取り付ける場合、ラックの底部に XPS を取り付けます。必要に応じて XPS とその真上のスイッチとの間に 1 RU 分の空間を確保し、ケーブル配線が容易になるようにします。

図 2-2 ラックへの XPS 2200 の取り付け



281541

|   |                        |   |            |
|---|------------------------|---|------------|
| 1 | フロントマウントの位置            | 3 | ミッドマウントの位置 |
| 2 | No. 12 または No. 10 の小ネジ | 4 | リアマウントの位置  |

## XPS の接続

- 「ケーブル接続のオプション」(P.2-6)
- 「ケーブルの接続」(P.2-7)

### ケーブル接続のオプション



(注)

すべてのケーブル コネクタは、スイッチの接続と同様に、キー付きで色分けされたコードになっています。

XPS ケーブルのタイプ :

- 図 2-3 に示されている StackPower ケーブルは、Catalyst 3750-X スイッチを、電源スタックの XPS または別の 3750-X スイッチに接続します。



(注)

このケーブルは、Catalyst 3560-X スイッチでは使用できません。

StackPower ケーブルの端は、黄色と緑色で色分けされています。StackPower ケーブルを使用して Catalyst 3750-X スイッチと XPS を接続するには、次の手順を実行します。

- 黄色側のケーブルを XPS 電源ポートに接続します。
- 緑色側のケーブルを Catalyst 3750-X スイッチの XPS ポートに接続します。
- 図 2-4 の XPS ケーブルは、Catalyst 3750-X または 3560-X スイッチを XPS に接続します。

XPS ケーブルの端は赤色と青緑色で色分けされています。XPS ケーブルを使用して Catalyst 3750-X スイッチまたは Catalyst 3560-X スイッチと XPS を接続するには、次の手順を実行します。

- 赤色側のケーブルを XPS 電源ポートに接続します。
- 青緑側のケーブルを Catalyst 3750-X スイッチまたは Catalyst 3560-X スイッチの XPS ポートに接続します。

どちらのケーブル タイプも 2 種類の長さが用意されています。

| 部品番号                       | ケーブル タイプ                                    | 長さ     |
|----------------------------|---|--------|
| CAB-SPWR-30CM <sup>1</sup> | Catalyst 3750-X StackPower ケーブル (図 2-3 を参照) | 0.3 m  |
| CAB-SPWR-150CM             |   | 1.5 m  |
| CAB-XPS-58CM               | XPS コネクタ ケーブル (図 2-4 を参照)                   | 0.58 m |
| CAB-XPS-150CM              |   | 1.5 m  |

1. CAB-SPWR ケーブルは、Catalyst 3560-X スイッチで使用できません。



図 2-3 StackPower ケーブル (Catalyst 3750-X スイッチ専用)

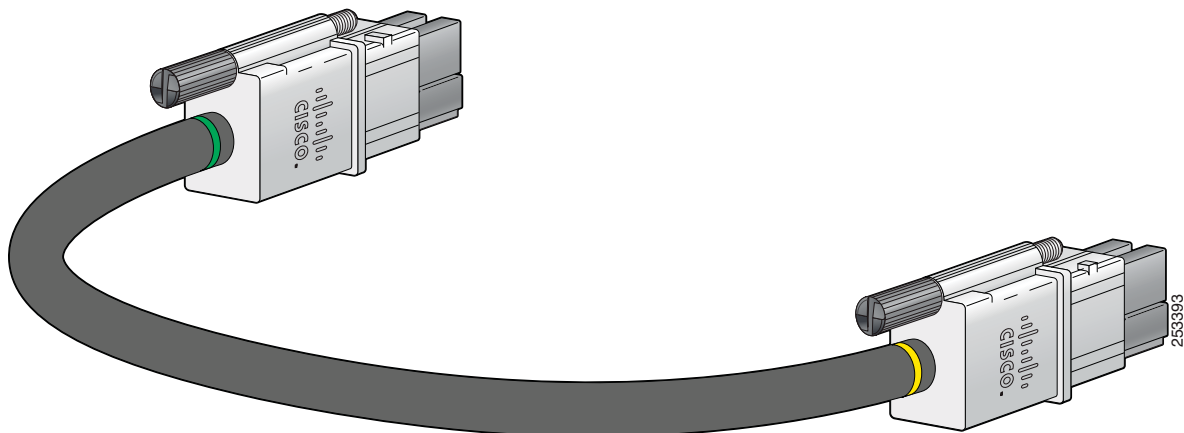
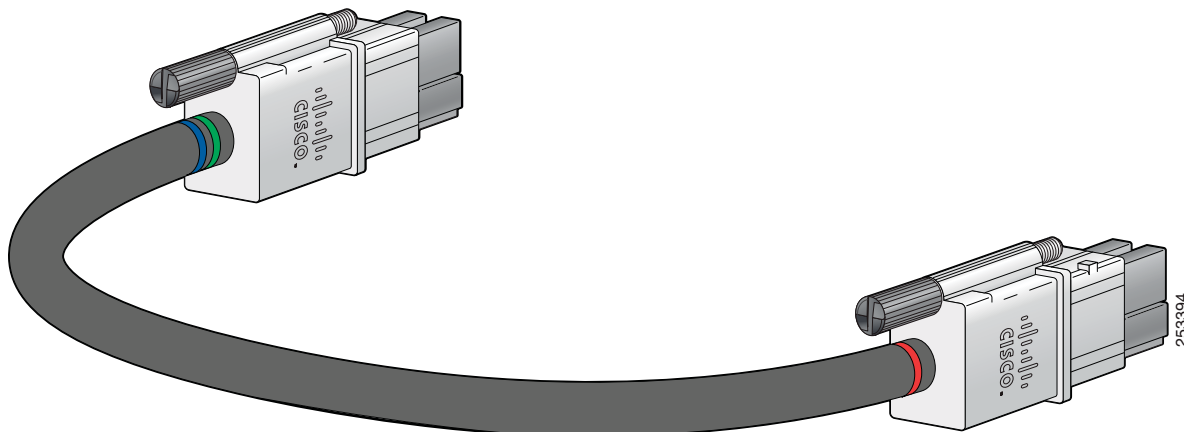


図 2-4 XPS 2200 ケーブル (Catalyst 3750-X スイッチ用および Catalyst 3560-X スイッチ用)



## ケーブルの接続



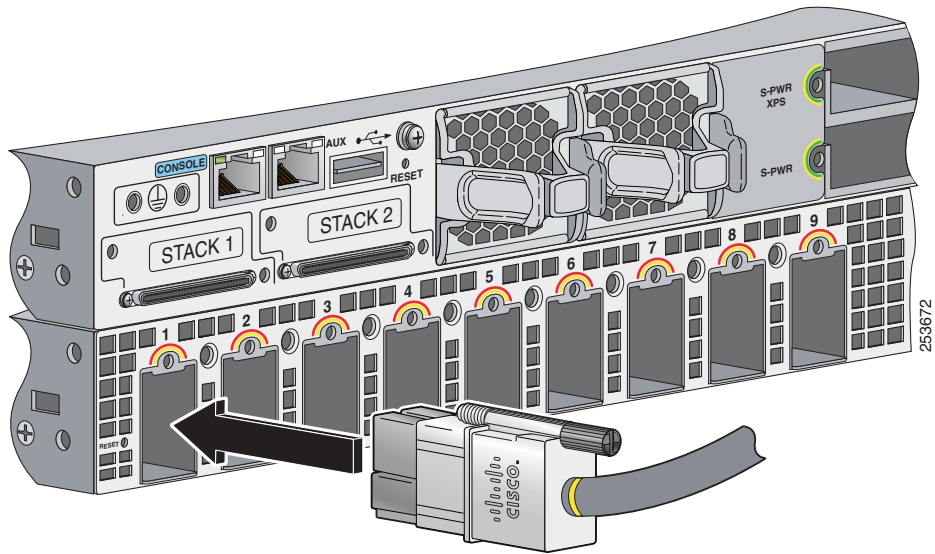
### 警告

装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。ステートメント 1018

次の手順に従って、ケーブルを接続します。

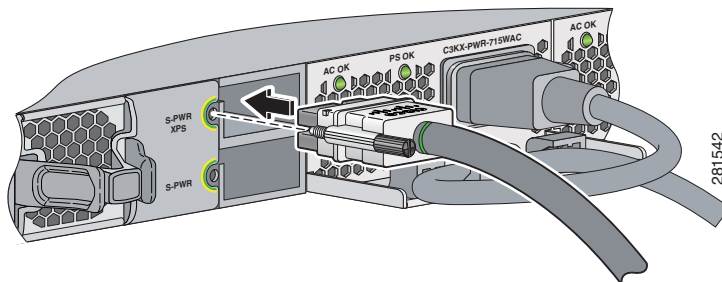
- ステップ 1** XPS ケーブルの一端を XPS 電源ポートに接続します (図 2-5)。

図 2-5 XPS 電源ポートへのケーブルの接続



**ステップ 2** XPS ケーブルのもう一端をスイッチの XPS ポートに接続します (図 2-6)。

図 2-6 スイッチへのケーブルの接続

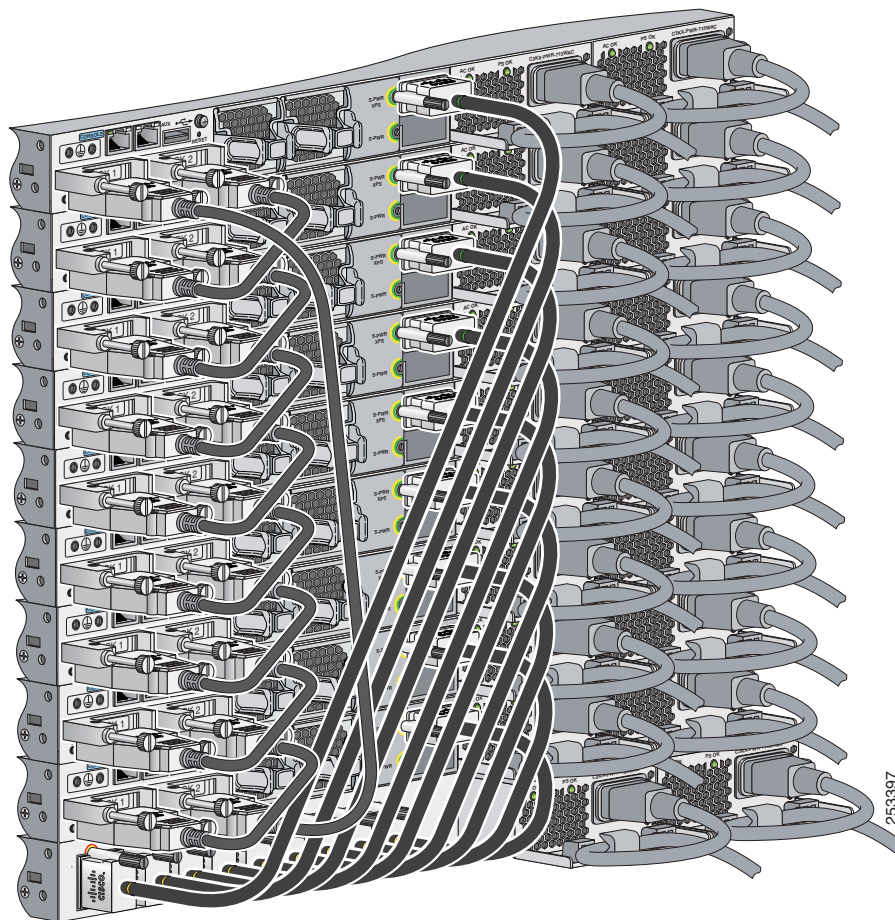


**ステップ 3** ラチェット式トルク ドライバを使用して、ネジのそれぞれに 5 in-lbf. (80 ozf-in.) のトルクをかけます。

適切に動作させるには、コネクタを適切に取り付け、ネジを安全に締めます。

**ステップ 4** XPS をサポートする各スイッチごとに、ステップ 1 からステップ 3 を繰り返します。図 2-7 に、XPS に接続された 9 個のスイッチ スタックを示します。

図 2-7 XPS を使用した StackPower のスタートポロジ



- ステップ 5** 接続されているデバイスの LED はグリーンになっている必要があります。接続されているデバイスの LED がグリーンではない場合は、[第 B 章「トラブルシューティング」](#)を参照してください。



- (注)** XPS 2200 の電源を切るには、XPS から電源を取り外し、すべての電源ポート ケーブルを取り外します。





## CHAPTER 3

# 電源モジュールおよびファン モジュールの 取り付け

- 「設置の注意事項」(P.3-1)
- 「AC 電源モジュールの取り付け」(P.3-2)
- 「DC 電源モジュールの取り付け」(P.3-3)
- 「ファン モジュールの取り付け」(P.3-5)

モジュールの説明については、「ファン モジュール」(P.1-6) および「電源モジュール」(P.1-7) を参照してください。

## 設置の注意事項

電源モジュールまたはファン モジュールの取り外しまたは取り付け時は、次の注意事項に従ってください。



**注意**

電源モジュールまたはファン モジュールは、無理にスロットに押し込まないでください。XPS のピンがモジュール側と合っていない場合に、ピンを破損するおそれがあります。

- 電源モジュールまたはファン モジュールが XPS にしっかり取り付けられていないと、システムの動作が停止することがあります。
- 電源モジュールの電源を抜いてから、電源モジュールの取り外しまたは取り付けを行ってください。
- 冗長モードでは、デバイスが電源モジュールに接続されている場合、または、XPS がデバイスをバックアップしていない場合、電源モジュールをホット スワップすることができます。



**警告**

電源モジュールやファン モジュールの取り付けまたは取り外し中は、空いているスロットやシャーシに手を入れないでください。回路の露出部分に触れると、感電のおそれがあります。ステートメント 206



**警告**

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030

## AC 電源モジュールの取り付け



### 警告

プラグとソケットの組み合わせは、メインの接続解除装置として機能するため、いつでもアクセス可能な状態にしておく必要があります。ステートメント 1019

AC 電源モジュールの取り外しおよび取り付け手順は、次のとおりです。

- ステップ 1 元電源側の電源を切ります。
- ステップ 2 電源コードを電源コード保持具から外します。
- ステップ 3 電源コードを電源コネクタから外します。
- ステップ 4 電源モジュール右側のリリース ラッチを押し、電源モジュールを引き出します。



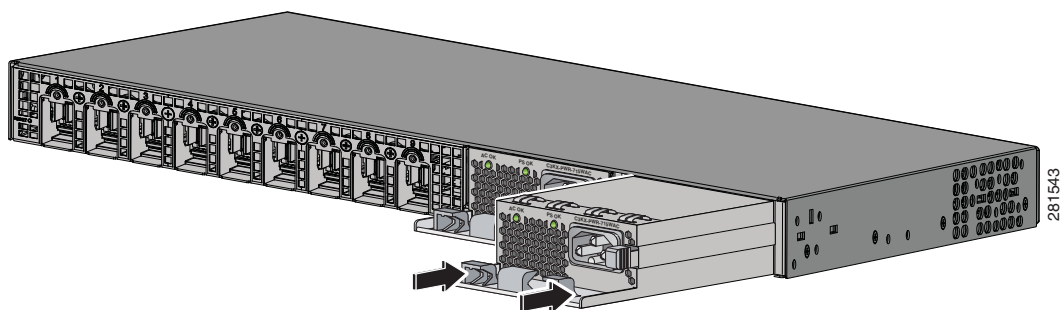
### 注意

スイッチの動作中は、電源スロットを 90 秒以上空けたままにしないでください。

- ステップ 5 電源モジュールを電源モジュール スロットに差し込み、スロットの奥にゆっくり押し込みます。正しく挿入されれば、350 W および 715 W 電源モジュール（電源コード保持具は含まない）は、背面パネルと面が揃います。1100 W 電源モジュールは、背面パネルから 1.5 インチ突き出ます（図 3-1 を参照）。

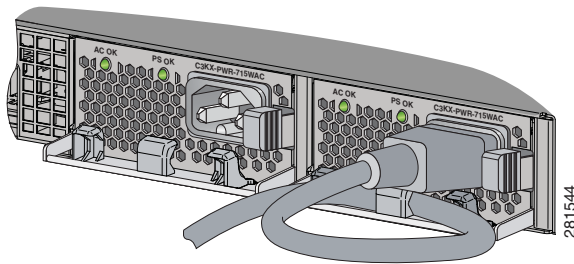
電源モジュールを XPS に挿入する場合、無理な力をかけないようにしてください。無理な力をかけると、電源モジュールの背面およびミッドプレーンにあるコネクタが損傷する可能性があります。

図 3-1 AC 電源モジュールの挿入



- ステップ 6 （任意）電源コードをループ状にして、電源コード保持具に通します（図 3-2 を参照）。

図 3-2 AC 電源モジュールの電源コード保持具

**警告**

装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。ステートメント 1018

**ステップ 7** 電源コードを電源モジュールに接続してから AC 電源コンセントに接続します。

**ステップ 8** 電源モジュールの AC OK および PS OK の LED がグリーンに点灯したことを確認します。モジュールの LED については、表 1-5 を参照してください。

## DC 電源モジュールの取り付け

- 「必要な工具」 (P.3-3)
- 「XPS への DC 電源の取り付け」 (P.3-3)
- 「DC 入力電源の配線」 (P.3-4)

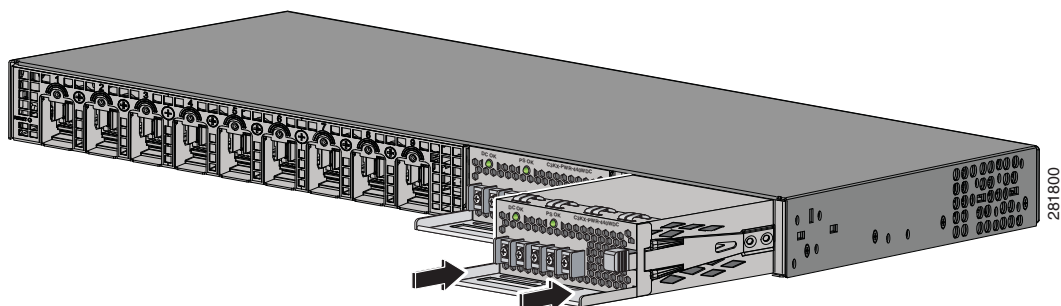
### 必要な工具

- 15 重量ポンド インチ (lbf-in.) の圧力までかけることができる No. 2 ヘッド ラチェット式プラスドライバ
- オプションで回転制御機構を備えた Panduit 製圧着工具 (モデル CT-720、CT-920、CT-920CH、CT-930、または CT-940CH)
- ワイヤ ストリッパ
- 14 ゲージの銅線 (× 4)

### XPS への DC 電源の取り付け

- ステップ 1** DC 電源をオフします。電源を確実に切断するには、回路ブレーカーを OFF の位置に切り替え、その回路ブレーカーのスイッチを OFF の位置のままテープで固定します。
- ステップ 2** 電源端子ブロックから、プラスチックの保護カバーを取り外します (図 1-9 を参照)。
- ステップ 3** 電源モジュールを電源モジュール スロットに差し込み、スロットの奥にゆっくり押し込みます (図 3-3)。正しく挿入されると、DC 電源モジュール (取手は含まない) と背面パネルの面が揃います。

図 3-3 スイッチへの DC 電源モジュールの取り付け



ステップ 4 「DC 入力電源の配線」の説明に従い、入力電源を接続します。

## DC 入力電源の配線

ステップ 1 ワイヤストリッパを使用して、DC 入力電源の 4 本の導線の端から、端子に見合う長さの被覆を取り除きます。



警告

必ず銅の導体を使用してください。ステートメント 1025

ステップ 2 Panduit 製圧着工具を使用して、フォークタイプ端子に銅の導体（90 °C 耐熱、14 AWG）の DC 入力電源線を圧着します。

ステップ 3 DC 入力電源端子を端子ブロックに接続します。図 3-4 または図 3-5 を参照してください。入力導線を端子ブロックに接続する際は、極性を必ず一致（マイナスとマイナス、プラスとプラス）させてください。XPS 2200 のラックがアースされていない場合は、アース線をアース処理された金属ラックに接続するか、またはアースに接続します。

図 3-4 アースを共有していない DC 電源 A と電源 B の分離

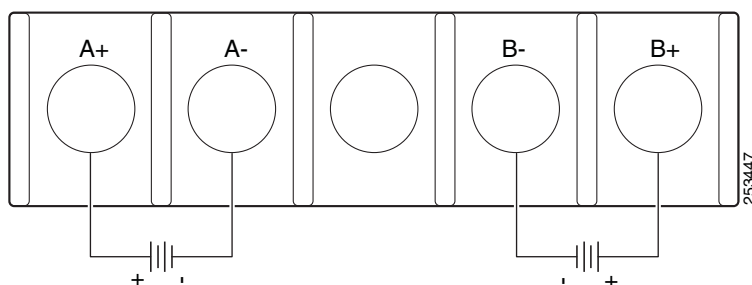
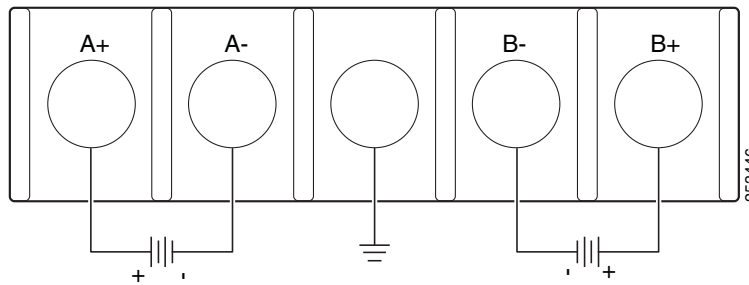




図 3-5 アースを共有している DC 電源 A と電源 B の接続



- ステップ 4** すべての端子ブロックのネジを 11 lbf-in のトルクで締めます。
- ステップ 5** 端子ブロックの安全カバーを元に戻します。
- ステップ 6** DC 入力電源の回路ブレーカーのスイッチを ON の位置に動かします。
- ステップ 7** 電源モジュールの *DC OK* および *PS OK* の LED がグリーンに点灯したことを確認します。モジュールの LED については、表 1-5 を参照してください。

## ファン モジュールの取り付け

- ステップ 1** ファン モジュールのリリース ハンドルをつかみ、モジュールを引き出します。



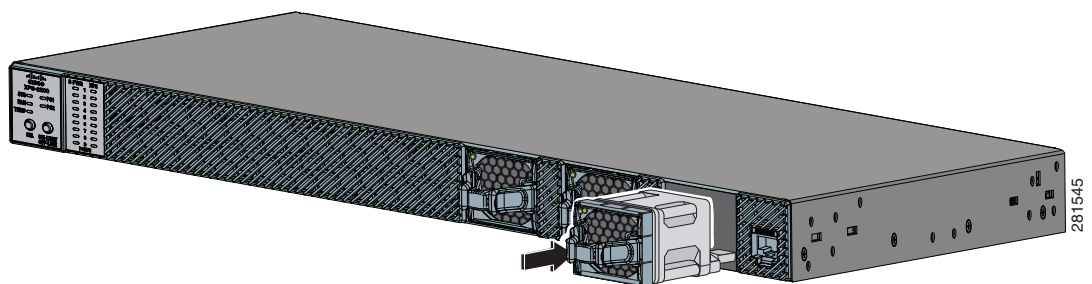
**注意** XPS の過熱を防ぐため、ファン モジュールの交換は 5 分以内に完了してください。

- ステップ 2** ファン モジュールをファン スロットに取り付け、スロットに固く押し込みます。取手ではなくモジュールの端に圧力をかけます (図 3-6 を参照)。正しく挿入されると、ファン モジュールの前面パネルが点滅します。ファン モジュールが作動すると、ファンの左上のグリーンの LED が点灯します。



**警告** 電源モジュールやファン モジュールの取り付けまたは取り外し中は、空いているスロットやシャーシに手を入れないでください。回路の露出部分に触れると、感電のおそれがあります。ステートメント 206

図 3-6 ファン モジュールの取り付け







# APPENDIX A

## 技術仕様

表 A-1 XPS 2200 の環境仕様および物理仕様

| 環境条件  |   |
|---|---|
| 動作温度  | 23 ~ 113 °F (-5 ~ 45 °C)  |
| 保管温度  | -40 ~ 158 °F (-40 ~ 70 °C)  |
| 湿度  | 動作時と保管時 : 10 ~ 95 % (結露しないこと)   |
| 動作高度  | 最大 10,000 フィート (3000 m)   |
| 保管高度  | 最大 15,000 フィート (4570 m)   |
| 物理仕様  |   |
|   | 寸法 (高さ×幅×奥行)  |
| 電源モジュールがない場合                                  | 1.75 x 17.5 x 18 インチ<br>(4.5 x 44.5 x 45.7 cm)<br>10.8 ポンド (4.9 kg)   |
| 1 台の C3K-PWR-1100W AC 電源モジュール使用時 <sup>1</sup> | 1.75 x 17.5 x 19.5 インチ<br>(4.5 x 44.5 x 49.5 cm)<br>13.8 ポンド (6.3 kg) |
| 2 台の C3K-PWR-1100W AC 電源モジュール使用時              | 1.75 x 17.5 x 19.5 インチ<br>(4.5 x 44.5 x 49.5 cm)<br>16.8 ポンド (7.6 kg) |
| 1 台の C3K-PWR-715W AC 電源モジュール使用時               | 1.75 x 1.75 x 18 インチ<br>(4.5 x 44.5 x 45.7 cm)<br>13.6 ポンド (6.2 kg)   |
| 2 台の C3K-PWR-715W AC 電源モジュール使用時               | 1.75 x 1.75 x 18 インチ<br>(4.5 x 44.5 x 45.7 cm)<br>16.4 ポンド (7.4 kg)   |
| 1 台の C3K-PWR-350W AC 電源モジュール使用時               | 1.75 x 1.75 x 18 インチ<br>(4.5 x 44.5 x 45.7 cm)<br>13.5 ポンド (6.1 kg)   |
| 2 台の C3K-PWR-350W AC 電源モジュール使用時               | 1.75 x 1.75 x 18 インチ<br>(4.5 x 44.5 x 45.7 cm)<br>16.2 ポンド (7.3 kg)   |

1. C3KX-PWR-1100 W AC 電源は 1.5 インチ (3.8 cm) スイッチ シャーシから突出します。

表 A-2 AC 電源の仕様

| 説明                   | C3K-PWR-1100WAC                        | C3K-PWR-715WAC              | C3K-PWR-350WAC              |
|----------------------|--|-----------------------------|-----------------------------|
| 最大出力電力               | 1100 W                                 | 715 W                       | 350 W                       |
| 入力電圧条件および周波数         | 115 ~ 240 VAC (オートレンジング)<br>50 ~ 60 Hz | 100 ~ 240 VAC<br>50 ~ 60 Hz | 100 ~ 240 VAC<br>50 ~ 60 Hz |
| 入力電流                 | 12 ~ 6 A                               | 10 ~ 5 A                    | 4 ~ 2 A                     |
| 出力定格                 | -56 V @ 19.64 A                        | -56 V @ 12.8 A              | -56 V @ 6.25 A              |
| 総入力 BTU <sup>1</sup> | 4263 BTU/時、1250 W                      | 2742 BTU/時、804 W            | 1357 BTU/時、398 W            |

1. 合計入力 BTU 定格は、入力電源から電源モジュールへの電力のことです。合計出力 BTU 定格は、電源モジュールからスイッチへの電力のことです。BTU 定格は、350 W および 715 W 電源モジュールでは 100 VAC、1100 W 電源モジュールでは 115 VAC を基準にしています。

表 A-3 DC 電源の仕様

| 説明                    | C3KX-PWR-440WDC                        |
|-----------------------|--|
| 最大出力電力                | 440 W                                  |
| 入力電流                  | 16 ~ 8 A                               |
| DC 入力電圧               | -36 ~ -72 VDC                          |
| 出力定格                  | -56 V @ 7.86 A                         |
| 電圧の範囲                 | -36 VDC (最小)、-48 VDC (公称)、-72 VDC (最大) |
| 総入力 BTU <sup>1</sup>  | 1841 BTU/時、540 W                       |
| 合計出力 BTU <sup>1</sup> | 1502 BTU/時、440 W                       |
| アース接続用のワイヤ ゲージ        | 12 AWG または 8 AWG                       |
| 分岐回路保護                | 20 A                                   |

1. 合計入力 BTU 定格は、入力電源から電源モジュールへの電力のことです。合計出力 BTU 定格は、電源モジュールからスイッチへの電力のことです。BTU 定格は、-36 VDC を基準にしています。

表 A-4 XPS 2200 の規格および標準への適合

| 仕様   | 説明  |
|------|---|
| 適合規格 | CE マーキングがある製品は 89/336/EEC 指令および 73/23/EEC 指令に準拠しています。これらの指令には、次に表示されている安全性および EMC の規格が含まれています。  |
| 安全性  | UL 60950-1<br>CAN/CSA C22.2 No.60950-1<br>EN 60950-1<br>IEC 60950-1<br>GB4943<br>CE マーキング   |
| EMC  | FCC Part 15 クラス A<br>EN 55022 (CISPR22)<br>EN 55024 (CISPR24)<br>VCCI クラス A<br>AS/NZS CISPR22 クラス A<br>CE<br>MIC<br>GOST<br>中国 EMC 認証 |





# APPENDIX B

## トラブルシューティング

この章では、XPS に関するトラブルシューティングの情報について説明します。

Catalyst 3750-X スイッチまたは 3560-X スイッチが XPS に接続されている場合、Cisco Network Assistant または CLI からトラブルシューティングを行えます。Cisco.com にあるスイッチのソフトウェア設定ガイドまたはスイッチのコマンドリファレンスを参照してください。

また、シスコのテクニカルサポートおよびドキュメンテーション Web サイト (<http://www.cisco.com/en/US/support/index.html>) にアクセスして、既知のハードウェア問題およびトラブルシューティングのドキュメントを参照できます。

## LED

スイッチのトラブルシューティングを行う際には、LED を確認します。LED の色とその意味については、「LED」(P.1-3) を参照してください。

## 問題の診断

この項では、XPS で検出される可能性がある問題について説明します。表 B-1 に、これらの問題の検出方法および解決方法について説明します。

表 B-1 共通の問題と解決策

| 現象                          | 考えられる原因                          | 解決方法  |
|-----------------------------|----------------------------------|---|
| XPS が、接続されたポートをバックアップできません。 | XPS ケーブルが緩んでいるか、または適切に接続されていません。 | ケーブルを XPS に接続し直します。Select ボタンを押し、次に、Online/Offline ボタンを押して、XPS をイネーブルモードにします。 |

表 B-1 共通の問題と解決策 (続き)

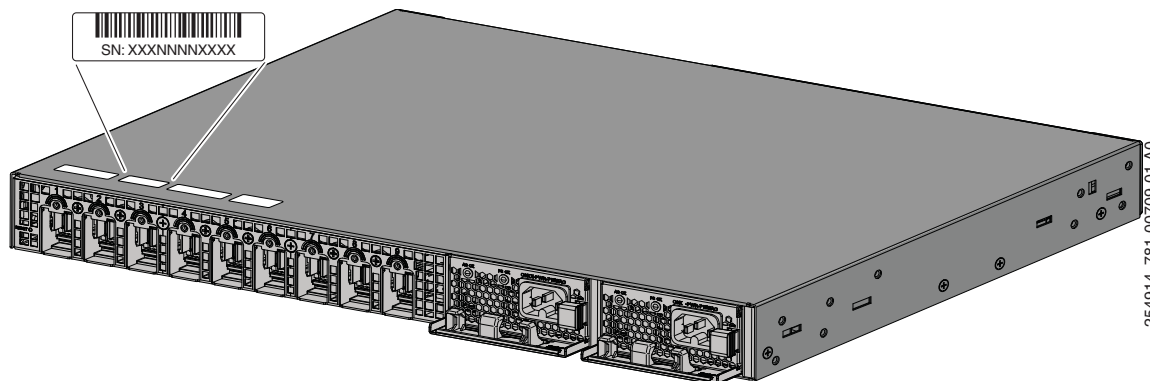
| 現象  | 考えられる原因                          | 解決方法  |   |
|---|----------------------------------|---|---|
| XPS の電源を使用できません。                          | プライオリティがより高いポートがバックアップ中です。       | 選択されたポートに、より高いポート プライオリティを割り当てます。   |   |
|   | ポートがディセーブル モードに設定されています。         | XPS をイネーブル モードにします。   |   |
|   | ハードウェア障害条件が発生しました。               | XPS を交換します。   |   |
|   | 電源モジュールが適切に接続されていないか、または欠陥があります。 | AC OK と PS OK の電源モジュール LED が両方ともグリーンであることを確認します。  |   |
| XPS は 3750-X スイッチまたは 3560-X スイッチと通信できません。 | XPS ケーブルが緩んでいるか、または適切に接続されていません。 | XPS からすべてのスイッチの接続を外します。正常と判明しているスイッチを XPS に接続し、XPS をイネーブル モードにします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• XPS がスイッチと通信できない場合、XPS を交換します。</li> <li>• XPS がスイッチと通信できる場合、前に接続されていたスイッチに問題がある可能性があります。</li> </ul> |   |
|   | XPS ケーブルに欠陥があります。                | XPS ケーブルを交換します。<br>「ケーブル接続のオプション」(P.2-6) を参照してください。   |   |
|   | SMB プロトコルでエラーを受信しました。            | XPS ケーブルを接続し直し、通信を再試行します。   |   |
|   | SMB 通信ハードウェア障害が発生しました。           | XPS とスイッチの両方をリセットします。   |   |
|   | XPS ケーブルを XPS に接続できません。          | XPS ケーブルが不適切です。   | 適切な XPS ケーブルを使用します。「ケーブル接続のオプション」(P.2-6) を参照してください。 |
|   | XPS によって、間違った温度が表示されます。          | XPS 温度感知デバイスに欠陥があります。   | XPS を交換します。   |
| ファン モジュールが動作していません。                       | ファン モジュールの通気口がふさがれています。          | 通気口がふさがれないようにします。   |   |
|   | ファン モジュールが XPS に適切に取り付けられていません。  | ファン モジュールが適切に挿入され、XPS 前面パネルが安全な状態かを確認します。   |   |
|   | ファン モジュールに欠陥があります。               | ファン モジュールを交換します。  |   |



## シリアル番号の確認

シスコのテクニカルサポートに連絡する場合は、XPS のシリアル番号が必要です。図 B-1 を参照し、XPS 2200 のシリアル番号を見つけます。

図 B-1 XPS のシリアル番号の位置







## INDEX

---

### A

AC 電源の仕様 [A-2](#)

---

### C

Cisco Network Assistant [1-10](#)

CiscoView [1-10](#)

CLI [v](#), [B-1](#)

管理オプション [1-10](#)

---

### H

HP OpenView [1-11](#)

---

### L

LED [1-3](#)

ステータス LED [1-3](#)

トラブルシューティング [B-1](#)

ファン モジュール [1-3](#)

---

### S

Select ボタンと Online/Offline ボタン [1-5](#)

SNMP ネットワーク管理プラットフォーム [1-11](#)

SunNet Manager [1-11](#)

---

### T

Telnet、および CLI へのアクセス [1-10](#)

temperature [A-1](#)

---

### X

XPS の概要 [1-1](#)

XPS の接続 [2-6](#)

XPS の設定 [v](#)

XPS の電源オフ [2-9](#)

---

### あ

安全性 [2-1](#)

---

### か

概要、XPS [1-1](#)

簡易ネットワーク管理プロトコル

「SNMP」を参照

管理オプション [1-10](#)

---

### き

技術仕様

環境と物理 [A-1](#)

規制への準拠の警告 [2-2](#)

---

### け

警告

機器のスタッキング [2-1](#)

規制への準拠 [2-2](#)

サービス機器 [2-2](#)

人身事故の防止 [2-2](#)

製品の廃棄処分 [2-2](#)

設置 [2-1](#)

装身具の取り外し [2-1](#)

立ち入り制限区域 [2-2](#)

電源の接続 [2-1](#)

ケーブル

オプション [2-6](#)

接続 [2-7](#)

ケーブルの接続 [2-7](#)

## こ

工具および機器

XPS の取り付け [2-3](#)

## さ

サービス機器の警告 [2-2](#)

サポートとマニュアル [B-1](#)

## し

湿度 [A-1](#)

シリアル番号の位置 [B-3](#)

人身事故防止の警告 [2-2](#)

## す

スタッキング、機器の警告 [2-1](#)

寸法 [A-1](#)

## せ

製品の廃棄に関する警告 [2-2](#)

設置

ブラケット [2-4](#)

前面パネル [1-2, 1-3, 1-6](#)

## そ

装身具の取り外しに関する警告 [2-1](#)

## ち

地域および各国の電気規格への準拠 [2-2](#)

## て

出入りが制限された場所に関する警告 [2-2](#)

電気ノイズ、避ける [2-3](#)

電源接続の警告 [2-1](#)

電源挿入部品 [1-7](#)

電源モジュール

概要 [1-7](#)

仕様 [A-2](#)

## と

トラブルシューティング

LED の意味 [B-1](#)

シリアル番号の位置 [B-3](#)

問題の診断 [B-1](#)

取り付け

XPS の接続 [2-6](#)

ケーブルの接続 [2-7](#)

スイッチ スタックで [2-5](#)

電源モジュール [3-2, 3-3](#)

ファン モジュール [3-5](#)

ブラケットの接続 [2-4](#)

ラックへの [2-5](#)

取り付けの注意事項

XPS [2-3](#)

電源モジュール [3-1](#)

ファン モジュール [3-1](#)

---

**の**

ノイズ、電気 **2-3**

---

**は**

背面パネル **1-2**

---

**ふ**

ファン モジュール **1-6**

LED **1-3**

取り付け **3-1, 3-5**

